

ぎょうむそくほう

【ダイジェスト】

No.595

2022年11月1日

東海旅客鉄道労働組合

<https://union.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進！

Japan-Railway-Tohoku-Workers-UNION / Japan-Railway-Tohoku-Workers-UNION / Japan-Railway-Tohoku-Workers-UNION

第2四半期決算について経営協議会を開催

Japan-Railway-Tohoku-Workers-UNION / Japan-Railway-Tohoku-Workers-UNION / Japan-Railway-Tohoku-Workers-UNION

J R東海ユニオンは、11月1日、令和4年度第2四半期決算の発表を受け、会社と経営協議会を行い、労使で意見交換を行った。

上半期は、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、東海道新幹線・在来線ともにご利用が増加したことなどから連結営業収益は前年比で増加した。また、営業費は当社の物件費やグループ会社の売上原価増などにより増加したが、増収・増益の決算となった。なお、通期の業績予想は、営業収益を据え置く一方で、当社の物件費（主に燃料価格上昇に伴う動力費）の増等を反映し、各利益が下方修正された。

今回の経営協議会では、第2四半期決算の内容に加え、会社の取り組みや経営課題に対して広範な議論を展開した。また、コロナ禍による厳しい経営状況から脱却すべく、昨日発表された「最新の技術を活用した経営体力の再強化」の詳細な内容等については、別途経営協議会を開催し、「業務改革」の内容についても議論することを会社に要請した。

J R東海ユニオンは『将来宣言』に基づき、労使協議を通じた経営のチェックを不断に行うとともに、J R東海グループが一体となって、この難局を乗り越え、経営体力を再強化できるよう取り組んでいく。

□令和4年度第2四半期 連結決算の概要

科 目	実 績	前年度との差異	増減率
営 業 収 益	6, 3 4 1 億円	+ 2, 4 7 1 億円	+ 6 3. 9 %
営 業 費	4, 6 2 2 億円	+ 4 1 1 億円	+ 9. 8 %
営 業 利 益	1, 7 1 9 億円	+ 2, 0 6 0 億円	—
経 常 利 益	1, 3 6 2 億円	+ 2, 0 3 3 億円	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	9 6 9 億円	+ 1, 4 1 4 億円	—

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。